

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2013年7・8月号

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第546号

富士山が世界遺産になったことで、噴火の可能性も含めて注目が集まっている。富士山の所有権争いのひとつに、山頂の所轄と静岡県と山梨県との県境にあるが、山頂部分はどちらの県にも属していない。この争いの歴史は古く、江戸時代の初期から、甲斐のものか駿河のものか、さらに浅間大社のものか争われていた。現在は浅間神社の所有となつてはいるが、十分な測量もされず、土地の登記がないのだという。山頂の郵便局は富士宮郵便局が、売店の納税は山梨・静岡県両県に、警察は双方の協議で対処することで、共同管理がおこなわれていると聞く。

浅間神社の宗教学者としての登記や、収益事業の納税がどうなっているかなど、下世話な心配も起こってくる。そしてこのような超法規的処置が日本の国において認められていることを知り、そこからいくつかの関連する事柄を考えさせられた。それはたとえば尖閣諸島であり、竹島である。

尖閣の所有権について、個人の所有であったものが国の所有に移り、この所有権移転を巡って中国や台湾が激しい抗議をしている。日本では理不尽な挑発といった報道がされているが、欧米など諸外国では、一触即発の国際紛争として報道されていると聞く。当初東京都が政治的意図を持って購入しようとしたことから、あれよあれよと言う間に、緊張が高まった。けれども、

日本国内に富士山頂のように、登記さえされていない土地があったらば、今も別途の方策があったのではと気がつかされる。尖閣諸島の魚釣島は中国では釣魚島、竹島は韓国では独島と呼ばれている。領土帰属の問題以前に、これらの島々が日本の文化圏と、それらの国々の文化圏との交わるところに位置していることを思わさる。国々の文化が交わるころという言い方は正確ではなく、尖閣諸島に

## 領有権凍結

日本クリスチャン・アカデミー評議員



横野 朝彦

あり、南極の平和利用が謳われている。さらに重要なことに、第四条では、領有権凍結が明記されている。

柴田鉄治氏は、その著「世界中を南極にしよう」において、「南極は地球の憲法九条」であると述べておられる。富士山が世界遺産候補となったとき、太田光・中沢新一氏共著の書名を受けて、どなたかが「富士山よりも憲法九条を世界遺産に」

関して言えば、琉球弧として独自の歴史と文化を持った島であり、土地であった。それゆえ、琉球弧としての独自性と主体性を認め、争いを「棚上げ」するのが良いと思えてならない。

一九五九年に制定された南極条約がある。第一条に、「南極地域は平和目的のみに利用する。軍事基地の設置、軍事演習の実施、あらゆる型の兵器の実験などは、とくに禁止する」と

と言っておられた。これを聞いたときに、思いを同じくしたのであるが、一方において、争いを凍結していることこそ、この場所の「遺産」としての価値ではないかと思ひなおしたものであった。

聖書・詩編二四に次のように歌われている。「地とそこに満ちるもの、世界とそこに住むものは、主のもの。」またレビ記二五章には、神の言葉として、「土地はわたしのものであり、あなたがたはわたしの土地に寄留し、滞在する者にすぎない」と記されている。この考えにもつき、土地の売買にあたっては五〇年後の無償返還が定め

られているほどで、聖書に記されたこの律法がどの程度の実効性を持ったかは不明であるが、土地は神のものであるとの考えにもとづいた理想社会が追求されていたのは確かである。

すべてのものは神の被造物であつて、人間が独占してよいものではない。このことは、神権の優位を主張して人間を隷属させるものでもない。むしろわたしは、これらを、人間がすべてを所有し、好き勝手に被造物を破壊することへの、強い警告と読むべきだと思う。

そしてこれらの言葉は、土地の所有権だけの問題ではないと思う。「地とそこに満ちるもの」とは、可視的なもの、自然や動植物だけではなく、思想・信条をも含んでいるのではないか。それらも、神の前にはすべて対化されるものだと思う。

主義や主張は大切であつて、時に強く言い続けなければならぬだろう。だが、それもまた対化されるべき場を確保しておかなければ、必要以上の争いの種となり、憎悪の連鎖を生み出し、また他者を隷属させることになる。

アカデミーは話しあいをその活動の中心に置いてきた。はなしあいをとおして、正義、平和のちが尊ばれる社会を目指して活動してきた。わたしたちがおこなつてきた話しあい運動とは、思想・信条という領有権を争いではなく、共同管理する場作りではないかと思はれる。

(番町教会牧師)

関東活動センター

●今日の課題プログラム  
「死・いじめを読み解く」

法政大学、河合塾コスモ講師 中島 浩壽さん  
2013年6月8日(土)  
日本キリスト教会館



6月8日(土)キリスト教会館で、中島浩壽(ひろかず)さんによる右記の講演会が開かれた。講師は元横浜YMCAフリースクール、現河合塾コスモ、ほか講師。『福音と世界』5月号(特集Ⅱ人生の「意味」を求めて)に『自傷・自殺』問題と「生きる意味」を、現代思想12年12月臨時増刊imgo(特集いじめ)に『いじめ対策と心理主義』を執筆した。主な著書『心を遠隔操作する社会』(現代書館)、『心を商品化する社会』共著、(洋泉社)。東京YMCAオーブンスペースL1 BY運営委員。日本社会臨床学会運営委員長。

一、中高生の自殺は300人前後で増えています。

精神病院では「自傷、加害の恐れ」との表現で、自殺を

「自殺予防、精神科医だけにまかせるな」と言う。「政府や医師会は自殺の大半がうつ状態からくるから、精神科医に相談せよ」という。精神科医が自殺を予測し阻止することは不可能に近い。病院への入院自体が自殺のリスクを高める。『ついに入院までして

まった、もう駄目だ」と絶望を深めてしまう。(08年、朝日)精神科医に相談すれば自殺は止まると考えるのは現実的ではありません。

中高生の一割はリストカットを経験している。「生きる意味を失っている」「生きづらさ」があるということを確認しなければいけません。

相談を受けたとき、話したら結論が出るわけではないがそこをやらないのはまずい。

ここ5〜6年「先生やカウンセラーからもコミュニケーション能力をつけましょうと言われて、それもできなくて、駄目だから私は「負のオーラ」がついている」という子が増えた。発達しようがいか、情緒不安定と言われてきている。その子たちはカウンセラーから色んな訓練を受けている。トータルスキルトレーニングとか色々なテクニクを受けたほとんどの方が「負のオーラ」を感じている。いじめ対策、コミュニケーションスキルがないという言い方は問題ではないか。

三、コミュニケーションスキルをアップする訓練を受けること自体が自己否定につなが

る。「もう自分は駄目だ」と思う子が多い。今、いじめ対策がそちらにすぐく振られている。

感性は個人の能力ではなく、関係性の場が作られているのに、関係を個人化、心理学化して最終的には精神科医に任せる。医療的視点で何とかしようという傾向が強い。そこを問題化したいと思いません。

四、どうすればいいか。「学校の感性は絶対ではない」ということを早めにわかってほしい。学校でコミュニケーションスキルが作れないと将来もずっと社会的関係の中で生きていけないと思っ

ている。学校の感性は独特で、それが社会に一致するとは思えない。状況を聞いていたらいい。学校はもっと開いたほうがいい。

負のオーラや「死にたい」という気持ちを持っている子たちの「生きづらさ」に、きちんと付き合っていくほかはない。

ある人が、親友が自殺して「生きる意味」を考えて先生や友達に聞きまくったがほとんど答えはくれなかった。学



校は勉強するけど生きるとか死ぬとかということを考えるところではない」と思っ

た。問題をきちんと受け止めようと思ひ、ゼミのテーマで取り上げました。

その子の問いかけにメンパーの何人も「自分も切っている」「生きる意味はないんじゃないの」とか。結局その子は「初めて真剣に議論した。結論は出なかったけどみんな似たようなことを考えている」ということが大きかった。と言った。「生きづらい」「生きる意味」「死ぬって何だろう」と、かなり考えてそこは避けて通れないのだろうと思

いました。  
Z・パウマンが「根本の近



関西セミナーハウス活動センター

代を細分化してそこを管理しようとする」と言っています。原発でいえば限りなく議論を細分化して、原発がほんとうに必要などうかは問わない。(文責武田)

●2013年度「お茶のこころと宗教のこころ」第1回  
「お茶のこころとキリスト教信仰のこころ」

単立岸和田栄光教会伝道師 西川 和江さん  
2013年5月20日(月)

「お茶とキリスト教」というテーマで始まったこの会も法人化問題で特定の宗教と繋げない方がよいのではということになり、昨年度から「お茶のこころと宗教のこころ」という名称になり、今年度も開催しています。お陰様で、

毎回多くの参加者が与えられています。

今回は、コツコツとお茶とキリスト教の関わりを研究しつつ茶道に励んでおられる西川 和江先生(単立岸和田栄光教会伝道師)に「お茶のこころとキリスト教信仰のこころ」という題で講師を務めていただきました。

講師の西川和江先生は、茶道の歴史を語りつつ、禅宗にはないが聖書にはある教えをピックアップし、利休の茶道の完成にはキリシタンとの交流が不可欠であったと考えられると話されました。しかし、利休の七哲の弟子のうち

6人がキリシタンでも利休が洗礼は受けていないと思われることや、利休は「明鏡止水」の心境にはなれなくて、切腹を命じられてから自刃するまで、相当怯えて平常心を失ったように思われることなどにも触れられました。

話し合いの中で、この会は利休をクリスチャンにしたがっている、とのご意見がありました。西川先生も「利休はクリスチャンではなかった」と言っておられるし、どの参加者もそのような意見を言っておられないが、何度もお参加の方がそのような感想をお持ちになるほど、利休の茶道とキリスト教の関わりについて話が続いたのだと思われまます。茶道は禅宗だという理解が一般的ですし、歴史的にもそれは正しい理解です。ただ、禅宗とキリスト教は当時一番理解しあえた関係で、茨木市の千提寺地区のキリシタンは全員が禅宗の二つのお寺の檀家になってキリスト教禁教令下を生き延びていること、「茶道」も禅宗との関係でしか生き延びられなかったこと、キリシタン禁制下では茶道とキリスト教、利

休とキリスト教の関わりが深くても文章で残すことはできなかったことなどを考え合わせる、状況証拠としては利休の茶道とキリスト教の関わりが深いと言わざるを得ないという結論となって今回の会は閉会となりました。参加者が自分の考えを忌憚なく話せたことは意義深いことでありました。セミナーハウスの目的が話し合いによって新しい出会いが与えられ、新しい気付きが与えられることにあるのですから。ハッキリとした証拠はないが気になる沢山の不透明な部分を話し

合いで掘り下げて行くことは、ロマンのような癒しが伴うことです。



関西セミナーハウス  
茶室 清心庵のご案内

- ◇お抹茶(要予約)  
1,000円(生菓子付)、ご宿泊の方900円
- ◇お抹茶ぶれいく in 清心庵  
土曜日10~16時(不定休)  
700円(お干菓子付)、ご宿泊の方600円  
ご予約不要でお呈茶致します。
- ◇茶道体験 1,500円(要予約)
- ◇貸茶室  
午前12,000円 午後13,000円  
お気軽にご利用ください。
- ◎お申込み・お問合せは、関西セミナーハウスフロントまで。

### プログラム案内

#### ◆関東活動センター

##### ■聖書を読む講座

「聖書によれば同性愛は罪? - わたしらしい性と生のために」

講師: 山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター 共同ディレクター)

日時: 2013年4月 ~ 12月の第2月曜日 (18:30 ~ 20:00)・原則月1回 全8回

④ 7月8日 ⑤ 9月9日 ⑥ 10月7日 ⑦ 11月11日 ⑧ 12月9日

\*第1 ~ 3回は終了

会場: 日本キリスト教会館 6階 会議室

参加費: 1,200円 / 学生 500円 全8回 8,000円 / 学生 3,500円

共催: 早稲田奉仕園

##### ■パネルディスカッション

『「牧師とは何か」を問う』

パネリスト 小友聡さん (日本基督教団中村町教会牧師・東京神学大学教授)・根田祥一さん (クリスチャン新聞編集長)・笹森田鶴さん (日本聖公会聖アンデレ教会牧師)

司会: 松本敏之 (日本基督教団経堂緑岡教会牧師・関東運営委員)

日時: 2013年9月9日 (月) 18:30 ~ 21:00

会場: 日本キリスト教会館 4階

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>  
関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>  
関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>  
関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本キリストチャン・アカデミー  
代表理事 小久保 正  
本部事務局  
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
TEL 075-711-2147  
FAX 075-701-5256  
関東活動センター  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
日本キリスト教会館 6F  
TEL・FAX 03-3207-6198  
E-mail: info@academy-tokyo.com  
関西セミナーハウス /  
関西セミナーハウス活動センター  
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
FAX 075-701-5256  
関西セミナーハウス  
TEL 075-711-2115  
E-mail: info@academy-kansai.com  
関西セミナーハウス活動センター  
TEL 075-711-2117  
E-mail: office@academy-kansai.org

会議室  
参加費: 500円  
協力: 日本キリスト教団出版局

##### ■宗教対話プログラム

シリーズ「今、悲しみの最前線で」  
「在宅ホスピスの現場から見た医の原点」

講師: 川越厚さん (元賛育会病院 院長、在宅ケア支援グループ・パリアン代表)

日時: 2013年7月20日 (土) 14:00 ~ 16:30

会場: 日本キリスト教会館  
参加費: 1,000円 / 学生 500円

「遺族外来の現場から」

講師: 大西秀樹さん (埼玉医科大学国際医療センター教授)

日時: 2013年11月16日 (土) 13:00 ~ 15:00

会場: 日本キリスト教会館 6階 会議室

参加費: 1,000円 (学生 500円)

##### ◆関西セミナーハウス 修学院きらら山荘

##### ■能を楽しむタペ in 修学院きらら山荘

第11回 能『女郎花』  
日時: 2013年8月30日 (金) 17:30 ~

第12回 能『船弁慶』  
日時: 2013年9月27日 (金) 17:30 ~

解説・出演: 林宗一郎さん (観世流 能楽師)

会場: 関西セミナーハウス  
各定員: 50名  
能観賞料金: 1,500円 / 大学生 1,000円 / 中学生 800円  
小学生以下無料 (ご宿泊の方は無料)

##### ■林宗一郎を囲んでの懇親会

日時: 上記各回能楽鑑賞後

会場: 関西セミナーハウス 茶室 清心庵  
費用: 1,000円 / 大学生 900円 / 小中高生 800円

##### ■月釜 清心会

9月8日 (日) 9:00 ~ 15:00 受付 (1、8月を除く年10回)

於: 関西セミナーハウス  
年会費: 5,000円、臨時会費 1,000円

##### ◆関西セミナーハウス活動センター

##### ■2013年度修学院フォーラム

「福祉一重荷を負う人と共に」

第1回「一人一人みんな違っていいーべてるの人たちから学んだ生きる力、暮らし方」

講師: 向谷地 生良さん (北海道医療大学看護福祉学部教授、社会福祉法人浦河べてるの家理事)

日時: 2013年9月7日 (土) 13:30 ~ 17:30

会場: 関西セミナーハウス  
参加費: 1,000円 / 学生 500円

##### ■2013年度開発教育セミナー

2013年度第4回フィールドワーク  
「日本の中のアジア、アジアの中の日本 ~ トロを「歩く・見る・聞く」 ~」

講師: 中村 尚司さん (龍谷大学 人間・科学・宗教総合研究センター)

日時: 9月14日 (土) 13:00 ~ 15日 (日) 12:00

集合: 近鉄奈良線「伊勢田駅」改札前

宿泊: 関西セミナーハウス  
参加費: 11,000円 (1泊2食及びバス一部負担 500円込)

定員: 20名

### 賛助会費・後援会費・寄付金報告

2013年5月1日 ~ 2013年5月31日  
(順不同・敬称略)

#### ◆財団本部

寄付金  
武藤 高司 10,000

#### ◆関東活動センター

賛助会費  
犬飼 護郎 5,000  
林 秀雄 5,000

#### ◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費  
林 律 10,000  
大下 道 5,000  
藤井 伸枝 5,000  
郷原 憲一 5,000  
喜多村 やよい 5,000  
立石 昭三 5,000

網島 郁子 3,000  
西川 治郎 3,000  
鳥居 興彦 3,000  
手銭 秀夫 5,000  
新宗連大阪事務所 生田茂夫 10,000  
田辺 信子 5,000  
早川 良彌 5,000  
古賀 暢子 5,000  
平林 喜博 5,000  
小澤 妙子 5,000

寄付金  
金山 顕子 1,040  
大下 道 5,000  
早川 良彌 5,000  
北野 宗香 5,000  
森 ユキエ 10,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。